



発信年月日：令和2年9月2日

所属部課	課長・香月泰男美術館長	担当職氏名	連絡先	TEL 0837-43-2500 FAX 0837-43-2577
経済観光部 観光政策課	岡田 年生	香月泰男美術館 丸尾 いと		
件名	展覧会「香月泰男の表現 一人一」の開催			

本展覧会の周知にご協力くださいますよう、お願いいたします。

- 概要** 香月は家族や身近な人物を描きました。その表現は観たままを描くことから形の様式化、色の単色化と変化していきます。本展では“肖像”“かたち”“動き”をキーワードに、表現の変遷を紹介します。
- 展示内容** 油彩とその画稿、素描、オブジェなど 約50点
- 会期** 令和2年9月6日(日)～令和2年12月6日(日)  
開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)  
休館日 毎週火曜日、9月23日(水)11月4日(水)  
※9月22日(火)11月3日(火)は祝日のため開館
- 会場** 香月泰男美術館(長門市三隅中226)
- 観覧料** 一般500円(400円)、小中高生200円(150円)、未就学児無料  
※( )内は20名以上の団体料金  
※長門市内在住者は、住所の分かるもの(運転免許証など)を受付で提示すると、無料で観覧できます。
- 関連イベント** 学芸員によるギャラリートーク ※事前申込不要  
【日時】9月26日(土)/11月15日(日)  
両日とも11:00から40分程度  
【内容】展覧会のみどころなどをお話しします。
- 問い合わせ** 香月泰男美術館  
〒759-3802 山口県長門市三隅中226  
TEL:0837-43-2500  
※9月1日～5日は展示替えのため休館

# 香月泰男の表現

# 人



「母と子」1968

美しく描こうと努めたほうが美しくなるのかそうでないほうが美しくなるのか、  
本当の美しさとは描いた人間の生命力の強弱によるものと私は今はそう信じている。

2020年 9月6日(日) - 12月6日(日)

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで) 休館日 毎週火曜日、9/23、11/4(※)(9/22、11/3は開館)  
入館料 一般 500(400)円 / 小中高生 200(150)円 ※未就学児は無料( )内は20名以上の団体料金

Y. Kikaku

香月泰男美術館

〒759-3802山口県長門市三隅中226 TEL 0837(43)2500

## イベント情報

※時世により予定は変更・中止になる場合があります。  
詳細は当館ウェブサイトにてご確認ください。

### 学芸員によるギャラリートーク

展覧会のみどころなどをお話します。

日時：9月26日④、11月15日⑤ 11:00～40分程度 ※事前申込不要

## 新商品のご案内

# オリジナルバッグができました！

B4サイズまでの書類やファイルが入るサイズです。人気の高い動物園シリーズの版画およびふくろうのデッサンを印刷しました。

- ・サイズ：縦 370 × 横 340 × マチ 80mm
- ・素材：コットン・ポリエステル
- ・印刷：シルクスクリーン 1色
- ・価格：1,000円 (税込)

### 取扱い

香月泰男美術館 (長門市三隅中226)

および 美術館ウェブショップ

<https://www.city.nagato.yamaguchi.jp/kazukiyasuo/>

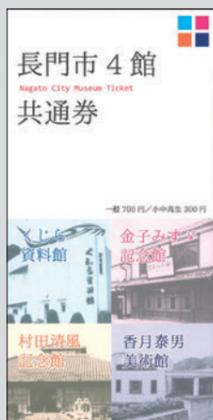


「ふくろう」  
1958年頃のデッサンより

「しなひょう」  
1970年の版画  
「五月七日/上野動物園にて」  
シリーズより

各限定  
200枚

## 長門市文化施設 4 館共通入館券のご案内



香月泰男美術館

長門市内の文化施設である香月泰男美術館、金子みすゞ記念館、村田清風記念館、くじら資料館の大変お得な共通入館券です。

一般 700円	小中高生 300円
---------	-----------

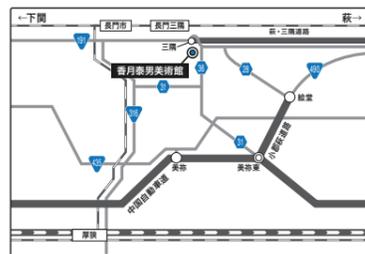
利用開始日から1ヶ月間有効  
1館につき1回入場可能

## 交通のご案内

- ・広島方面より  
中国自動車道美祿東JCT～小郡萩道路絵堂I.C.より車約20分 (R28・R191経由)
- ・九州方面より  
中国自動車道美祿I.C.より車約40分 (R435▷R316▷R31▷R36経由)

### 【公共交通機関ご利用】

- JR山陽新幹線・JR山陽本線厚狭駅▷美祿線乗換(65分)
- ▷長門市駅下車 長門市駅よりバスで約20分
- 最寄バス停「湯免温泉」下車 徒歩3分



## ご来館の皆様へご協力をお願い

ご入館の際はマスクの着用と手指の消毒をお願いいたします。当面の間、お客様の体温を確認させていただきます。その他、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにご協力をお願いすることがございます。スタッフはマスク着用のうえでご案内いたします。共用部分の定期的な消毒を行います。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

香月泰男美術館 〒759-3802 山口県長門市三隅中 226  
TEL 0837(43)2500

●ウェブサイト

香月泰男



●Twitter

@kazuki\_yasuo



「母子」1968

# 香月泰男の表現

Y. Kazuki

## 2020年 9月6日④ - 12月6日⑤

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 毎週火曜日、9/23④、11/4④ (9/22、11/3は開館)

入館料 一般 500(400)円 / 小中高生 200(150)円

※未就学児は無料 ( )内は20名以上の団体料金

## 香月泰男美術館

〒759-3802 山口県長門市三隅中226 TEL 0837(43)2500

# 香月泰男の表現



動くことは生きている証である。



## うごき

1960年以降、人々の日常を描いた作品は、木炭を混ぜた黒で表現されています。背景はシンプルな黄土色のため、人物が引き立ち、うごきがより鮮明に伝わってくるようです。

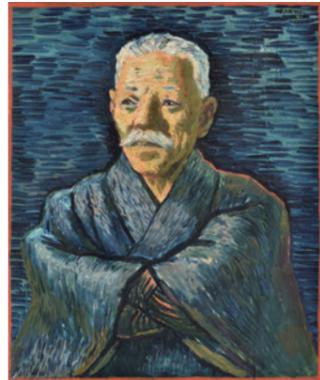
戦後日本洋画界を代表する画家、香月泰男は自身の抑留経験を描いた“シベリヤ・シリーズ”で広く知られています。一方で香月は家族を中心に人物も描きました。その表現は画風の変遷とともに観たままを描くことから、形の様式化、色の単色化と変化していきます。

本展では“肖像”“かたち”“動き”をキーワードに、表現の変化と色が与える印象について観てみましょう。



## 肖像

初期の人物の描き方は、人物の特徴をとらえながら、海外や日本の画家に影響を受け、さまざまな画風を試みていました。



「祖父」1931



「少年像」1936



「少女」1939



「少年」1939



## かたち

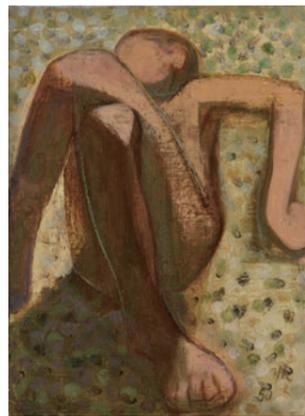
戦後、1950年代中頃まではかたちが強調された人物を描いています。



「桐花」1949



「後向の少年」1950



「足を組む」1953



「休憩」1952



「二人」1955



「種をまく人」1960



「ブランコ」1960



「鉄棒」1960



「投網」1961



「洗濯」1965



「駄々子」1968



「父と子」1967-69



「母と子」1969



## オブジェ

香月が廃材に命を吹き込んだオブジェは通称“おもちゃ”と呼ばれ、当館の常設コーナーでご覧いただくことができます。サーカスや楽隊、親子など人物に注目してお楽しみください。



サーカス



楽隊

Y. KAZUKI